

第6回岩出市公共下水道事業運営審議会 議事概要

1. 日 時 平成18年10月3日(火) 13:30~16:40
2. 場 所 岩出市役所第4会議室
3. 出席者 会長他委員10名、事務局5名
4. 議 題
 - (1) 審議内容の一部非公開について
 - (2) 前回議事概要について
 - (3) 岩出市公共下水道事業の財政計画について
 - (4) その他
5. 会議形式 公開(一部非公開)
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開 会
事業部長 挨 拶
会長 挨 拶

- (1) 審議内容の一部非公開について(事務局報告)
財政計画の金額や具体的な計算過程とそれに関する審議内容を本審議会の最終答申が出るまでの間、非公開で進めることで決定する。
- (2) 前回議事概要について(事務局報告)
- (3) 岩出市公共下水道事業の財政計画について(事務局報告)
 1. 財政計画の作成手順
 2. 下水道の整備計画
 3. 下水道建設費計画
 4. 起債償還計画
 5. 下水道管理費計画

8. 主な意見・質疑応答

意見

資料について参考先がわからない。関連資料とのリンクが判るようにしていただきたい。

市の一般会計の財政はどうなっているのか資料として必要ではないか。

個々の支払能力がわかるような資料も必要では(所得分布)。

質疑

維持管理費の年間49百万円の算定基準はあるのですか。

事務局

効率的な汚水処理施設整備のための都道府県構想策定マニュアルがありまして汚水処理をどんなふうにするか全県汚水適正処理構想を作りなさいというのがあり、それを引用しています。

質疑

流域下水については今年度使用料等金額が出されてくるという説明があった訳ですけども、詳細な内訳が出てくるのですか。審議会の意見としても金額の内訳を県に出して頂きたい。

事務局

那賀処理区の料金を決めるに当っては岩出市・紀の川市は住民さんに対して説明できる根拠を示す必要があり、審議会においても納得のいく数字でないと説明できませんと県に伝えています。

質疑

有収率を80と90で説明した根拠は、老朽化による有収率のデータはあるのか。

事務局

有収率90%は計画上の不明水率10%ということで、計画どおり対応できれば90%になるだろうという想定です。80%は明確な根拠がありませんが90%は他の自治体の状況から難しいのではないかと推定して80%ぐらいがある程度実現できる努力目標と考えています。老朽化するに当たって不明水が増えるのかどうかについては大都市で統計的には調査したものはあるのですがヒューム管が主体になりますので、塩ビ管主体の岩出の場合どうなるのかはわかっていないのが実情です。

意見

合併浄化槽の維持管理費（標準的な水量と年に一回の汲み取りの金額）と設置に対する試算（下水につながる場合と合併浄化槽の設置との費用差）の資料をお願いしたい。

事務局

合併浄化槽設置後は住民さんの管理に委ねられている事から自治体で把握できていないが、国から汚水処理方式を比較する時にこの数字を使いなさいというのが年65,000円ですのでこれとの比較は可能かと思えます。

質疑

整備計画をもっと早めることはできないのか。

事務局

これまで年約10ha、本年度26ha、計画では19年度以降さらに倍の50ヘクタール以上の整備をしていくこととなります。整備ペースを上げるには事業費的な問題、人的な問題等ございまして早くできるのであれば前倒しをしていきたいとこれまでも進めてきましたが、さらにペースを上げることについては今後の検討課題とさせていただきます。

次回提出資料

- ・ 財政計画の資料について絞り込んだ資料とし、比較しやすくする
- ・ 一般会計への影響について現状と今後の見通し
- ・ 個人の負担能力を知るための所得分布
- ・ 有収率の近隣市町村の実情等と公共施設等の減免制度による減少率
- ・ 下水道との比較するための合併浄化槽の平均的な維持管理費と設置費用
- ・ 上水道の平成17年度の決算書

9. 次回日程

平成18年10月31日（火）午後1時30分より

10. 問い合わせ先 事業部 下水道課 電話番号 （62）2141 内線 333